

# 社会福祉施設へのヒアリング結果

〔実施方法〕 社会福祉施設に、訪問・電話により聞き取り（令和4年9～10月）  
〔対象施設〕 高齢者施設A（入・通所）、高齢者施設B（入所）、児童施設C（通所）

## 1 避難基準

＜参考＞ アンケート調査結果（R3）

- ・ 避難するタイミングの判断が難しい。

## 2 避難方法

- ・ 利用者の状況が多様※であり、それぞれに応じて対応する必要。  
※ 一人で歩ける人、徒歩だが介助が必要な人、担架・車が必要な人 など
- ・ 車での避難は、定員に限りがあり、避難所への往復回数が多大。
- ・ 指定避難所が遠い、避難先までの道幅が狭い。

＜参考＞ アンケート調査結果（R3）

- ・ 浸水や土砂流入など、避難経路の安全性に不安。

## 3 避難先

- ・ 近隣に高い建物が無いなど、適切な避難先の選定が困難。
- ・ 避難先の受入可能規模の関係から、利用者全員が同じ避難先に避難することが困難。
- ・ 避難先に避難者用ベッドを確保してもらう必要。

＜参考＞ アンケート調査結果（R3）

- ・ 避難先のキャパシティや安全性、避難の長期化が不安。
- ・ 避難先に利用者のケアのための十分な設備・備品・体制がない。

## 4 職員体制

- ・ 職員1人が複数の利用者に対応する必要。
- ・ 災害時には対応すべき業務が多く、人手が足りない恐れ。
- ・ 入・通所複合施設では、避難前に、通所者を自宅に返す対応が必要。

＜参考＞ アンケート調査結果（R3）

- ・ 夜間は、地域の応援を得ることが困難で、人手不足のおそれ。
- ・ 利用者がある時間帯は、全員を避難させられるか不安。
- ・ 職員の危機意識を高め、必要な知見を身につけることが難しい。

## 5 訓練

- ・ 利用者の状況から、屋外での大規模な移動訓練が困難。
- ・ コロナ禍により、住民や協力施設等の参加を得ることが困難。
- ・ 火災訓練は実施しているが、水害訓練は未実施。

＜参考＞ アンケート調査結果（R3）

- ・ 日常の業務に追われ、人的・時間的に訓練を行う余裕がない。
- ・ 移動を含む訓練の安全な実施のためには、大規模な準備・人員手配・外部の協力が必要。
- ・ 利用者に非日常的な行動を求めることが難しい。

## 6 施設・設備

- ・ 自家発電設備がなく、停電時の施設の維持が困難。

＜参考＞ アンケート調査結果（R3）

- ・ 車両、車いすなど、移動手段の数量が不十分。

## 7 地域・行政の役割等

＜参考＞ アンケート調査結果（R3）

- ・ 利用者のケアをしながら避難するには、地域の方の助けが不可欠。
- ・ 水害対策や被災時の相談窓口を明確にしてほしい。
- ・ 地域との連携体制づくりは、施設単独では難しく、行政のサポートがほしい。

## 8 その他

＜参考＞ アンケート調査結果（R3）

- ・ 避難確保計画の作成方法、訓練の実施方法、類似施設の事例、過去の事例、雨天・夜間の避難方法などの情報がほしい。